



学校だより 夏休み号

泉区緑園五丁目28番

<http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/rvokuenhigashi/>

TEL (811) 6710

「今年も我慢の夏、でもプラスの発想で！」

学校長 副島江理子

新しく完成したプールで、各学年2回の水泳学習を無事に終えることができました。屋内プールなので、雨が降っていても気温、水温があれば泳ぐことができました。昨年は一回も泳がなかった子どもたちもいるのでしょうか。1回目は恐る恐るプールに入っていたのが、2回目は思い切って楽しそうに水に親しむ姿に、たった2回でも水泳学習をしてよかったですとつくづく思いました。プール納めでは代表の児童が「来年は、感染症も収まってたくさんプールで泳ぎたいです。」と話してくれました。屋内プールは泳ぐことのできる期間が長く、2年間我慢をした分、来年こそはたくさん泳げることを願っています。

このように、長引く感染症の流行で制限のある学校生活が続いています。2年間続けてできない活動もたくさんあります。不自由な生活に慣れきってしまった様子も見られます。でも、そのことに自分たちで気づき、よりよい学校生活を送ろうと考えるのが緑園東の子どもたちの素晴らしさです。

7月1日には今年度1回目の「学校保健委員会」が開かれ、9年目となった「0プロジェクト」（「けが0プロジェクト」が昨年度より「びょうき0プロジェクト」になりました）について話し合いが行われました。保健委員の気持ちを込めた提案を真剣に受け止め、4年生以上の学級代表や委員会委員長の6年生が一生懸命に話し合いをしました。今年度のテーマは【心も体もびょうき0プロジェクト～「ありがとう」感謝の気持ちを伝えよう～】です。緑園東小最後の1年、感染症予防をもう一度しっかりと意識しながら、心も体も健康で楽しく笑顔あふれる学校生活を送るためにはどんなことができるか、閉校の機会に「ありがとう」の感謝の気持ちを伝えるには、どんなことができるか、自分だったら、自分のクラス だったら、委員会だったらどうするか、みんなでアイデアを出し合いました。

4月からの学校生活で、子どもたちは互いの考えや活動を尊重して、よく学び合うようになってきました。特に、低・中学年の子どもたちにとって、高学年の活動している姿は憧れです。同じようなことをやってみたいという気持ちが、よりよい活動につながり、全校児童が高め合ってきたように思います。

あつという間に明日から夏休みです。きっと子どもたちは、ご家庭では不安な様子も見せていることでしょう。保護者の皆様の揺るぎないご支援があったからこそ、子どもたちは今年度も心身ともに元気に乗り切ることができています。保護者の皆様のご理解とご協力に心より感謝を申し上げます。

昨年とは違って夏休みの期間は例年通りとなりましたが、感染状況を気にしながら、制約の多い夏休みです。でも、子どもたちには、学校生活で培った「他者から学び、よりよいものをつくりあげる力」を十分に発揮して、「今年の夏休みだからこそこんなことができた！」とプラスの発想で楽しく創造的に夏休みを過ごしてもらいたいと思います。昨年度はできなかった「夏休み作品展」も今年度は予定しています。一人ひとりの思いが詰まった作品を楽しみにしています。

地域の皆様には、日頃より子どもたちの見守り活動にご協力をいただきまして本当にありがとうございます。2年続けて、子どもたちが楽しみにしている夏祭りもすべて中止となり、本校が大切にしてきた、地域の一員としての活動も大幅に制限されたままです。それでも、夏休みはそれぞれの地域で子どもたちが過ごす時間が長くなります。地域の方々とあいさつを交わし、つながりを感じる夏休みであってほしいと願っております。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

夏休み明けも、厳しい状況下での学校生活が続くと思われませんが、子どもたちの個々の力を伸ばしていけるように、私たち教職員も一層の配慮と工夫を重ねていきたいと思っています。